

特集 I ニューガラスフォーラム 20 周年記念

歴代会長からのメッセージ

雑 感

HOYA 株式会社

相談役 山中 衛

(2002.6~2004.6 会長)



私が NGF の会長に就任した平成 14 年頃の事は既に私の心の中では相当昔の事となって頭の整理箱から片付けられてしまいました。何を書いたら良いのやら…。

20 世紀に活躍したガラス産業の主力製品達のいくつかのものの将来図は、その時点での考えでは、バブル経済の立ち直り中でもあっても、余り芳しい姿を想定しにくく国内需要と供給能力の比較においても、関税や金融の自由化面（国際的交易条件）からも、エネルギーを多用する製造面からも、環境面からも、世界的に高い日本の労働コストや円の相場面からも、又々減少が予想される人口統計上からも、どう見ても明るい 21 世紀が約束された状態という様には私には思われなかったのです。

そこで登場したのがガラスメーカーの立場から考えられた NGF の考え方でしたのでしょうか。当時私は、今もややそうですが、New Glass の概念がどうもしっくり来なくて、やや自嘲的に、かつ自虐的でしたらあった様に思います。しかし、世の中は実に良くしたものでガラスメーカー各社は、その後苦しい経営の中から立ち直り、そしてお国の経済も又、バブル後を脱却した（しつつある？）のです。今振り返って見るとどの企業もそれなりに方向性を見つけ出し、しぶとく、そして見事に立ち直りました。持てる資源の選択と集中を実行し、過剰な供給力を削減したり、その結果、企業の離合集散も一部には行なわれ、その間、各種のコスト削減や諸制度を低成長時代に合わせながら経営的に落ち着いて来ました。他方、ガラスメーカーは地球温暖化や地球環境対応にお役に立つ商品・サービスや、防犯・防災対策に役立つ製品の開発、お客様のその後の管理コスト削減に役立つ様な製品、デジタル家電の誕生にお役に立つ様なハイテク？部品群や通信革命のお役に立つ映像の取り込みから光の転送・増幅・連結・分岐や記録の貯蔵等の部品から結果を写し出す映像のディスプレイ機器用の部材まで幅広く供給しているのです。なんと逞しい事でしょうか。それらの製品は、それ以前にはなかったものですから。今から考えるとそれらの製品こそ New Glass なのでしょう。

今のところ組成としてはさほど大きな発明はないのですが、売り先が新しく、売り方が新しく、用途が新しく、造り方が新しいのです。なんとなくエレクトリックでデジタルイデ、要は今風なのです。

NGF が設立されて 20 年、お国からご支援を頂いてやってきた活動が各社の研究者に刺激を与えて、その直接的、間接的効用の表われでもあるとも思います。新しい時代背景に直面し、危機感をもって各社の研究陣が注力した結果なのです。

私達の先輩諸氏が先見を持って、NGF という実に良い遺産を残してくれたものをつくづく思います。21 世紀に入り、NGF の発展と成果を心から祈ります。